

第28回あみ全国大会 in 福岡

ami
in FUKUOKA
2025

「任せんしゃい！
キャンペーン」開催!!
早割料金アリマス～!!

「家族も丸ごと任せんしゃい！」

～ 網の目「ネットワーク」編み込む「ニットワーク」歩む「フットワーク」～

2025 年10月10日(金)～11日(土)

@福岡県中小企業振興センター

主催：NPO法人 全国精神障害者地域生活支援協議会

第28回全国大会 in 福岡 開催にあたって

大会実行委員長 米倉貴之

1997年7月、あみ設立。「作業所の法定化」「地域間格差の是正」「全国ネットワークの促進」を三つの活動目標として掲げ、精神障害者のまちでの暮らしを支える様々な人々が結集しました。当時から毎年、各地域での全国大会を開催しています。

今年の大会テーマは、『家族も 丸ごと任せんしゃい!』としました。私たちの支援の現場は、家族会運営の作業所からスタートした事業所が多くあります。法の変化とともに「作業所」「小規模通所授産」「障害福祉サービス」とその名を変えてきましたが、支援の本質は何ひとつ変わっていないと思います。サービスを利用する当事者の背景には家族がいます。

障害当事者も、家族も、支援者も、誰もが安心して暮らせる地域が必要です。

地域づくりを行うのは私達、一人一人です。

今回の『家族も 丸ごと任せんしゃい!』のテーマのもと、福祉は、サービスでも事業でもないこと、家族も支えることを、私たちの実践の現場に持ち帰り、明日からの支援と、さらにその充実をめざすために、全国各地から多くのご参加をお待ちしております。

福岡大会に参加された方々が、自分たちにできる～明日への一步を踏み出す元気と勇気～を感じられる大会にしたいと思います。

大会概要

大会テーマ:「家族も 丸ごと任せんしゃい!」

～ 網の目「ネットワーク」編み込む「ニットワーク」歩む「フットワーク」～

開催日時: 1日目 2025年10月10日(金) 13:00～16:25(受付12:00～)

2日目 2025年10月11日(土) 9:30～16:55(受付9:00～)

開催場所: 福岡県中小企業振興センター〔JR吉塚駅(東口)隣接〕

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 TEL: 092-622-0011

開催方法: 会場参加

申込締切・大会参加費: 今大会はキャンペーン企画とし、

「早割」と「早割以降」で大会参加費が異なります。

「早割」期間: 申込開始～2025年8月15日(金)

「早割以降」期間: 2025年8月16日(土)～2025年9月30日(火)

●大会参加費

期 間	「早割」	「早割以降」
申込締切	2025年8月15日(金)	2025年9月30日(火)
① 会員・賛助会員	4,000円	7,000円
② 一般(非会員)	5,000円	9,000円
③ 家 族	2,500円	4,000円
④ 当事者・学生	2,500円	

●活動交流会参加費 7,000円(10月10日金曜日18:30～20:30)

※活動交流会のお支払は、当日現地にて現金払いでお願いいたします。

問い合わせ先

●第28回福岡大会事務局【あみ福岡大会申込サポートデスク】

社会福祉法人 敬愛会 TEL: 0979-64-7901 (対応日時/平日・祝日 9:00～17:00 ※土日を除く)

●あみ事務局: 東京都杉並区天沼2-3-9 伊藤ビル2階

TEL: 03-6383-5673 (対応日時/平日 10:00～15:00 ※土日祝を除く)

E-mail: info@ami.or.jp

スケジュール

10月10日（金）大会1日目

12:00	受付開始（60分）
13:00	
13:00	オープニング・開会式（15分）
13:15	
13:15	あみ基調報告（30分） 報告者：近藤 淳 ガーデニング・あみ事務局長
13:45	
13:45	行政報告（60分） 報告者：鈴木 大樹 氏 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官
14:45	
14:45	休憩（15分）
15:00	
15:00	基調講演（70分） 「本人もだいじ 家族ひとりひとりもだいじ 求められる家族まるごと支援」 講師：佐藤 純 氏 Cafs きょうと (Carer and family support きょうと)
16:10	
16:10	地域精神保健福祉サポートセンター 活動報告（15分） 報告者：佐伯 寿々恵 氏 地域精神保健福祉サポートセンター 勝田 武司 氏 地域精神保健福祉サポートセンター
16:25	
18:30	活動交流会 @八仙閣 本店（120分）
20:30	

10月11日（土）大会2日目

09:00	受付開始（30分）
09:30	
09:30	分科会 1~5（240分） ※各分科会ごとで昼食休憩をはさみます
13:30	
13:30	休憩（20分）
13:50	
13:50	ami へのいざない（10分） 兼浜 克弥 あらごびあ・あみ常任理事
14:00	
14:00	スピークアウト（30分） 「想いのことだま」 進行：こころの病の患者会 うさぎの会
14:30	
14:30	休憩（20分）
14:50	
14:50	シンポジウム（110分） 「家族も丸ごと任せんしゃい！」 様々な立場から、明日へのメッセージ 司会 ・富岡 賢吾 氏 F・Cフチガミ医療福祉専門学校 登壇者 ・梶橋 恭一 氏 福岡県精神保健福祉会連合会会長 ・大石 泰治 氏 リカバリースペース桜 施設長 ・村上 泰幸 氏 熊本県精神保健福祉会連合会 理事 ・調整中（障害福祉サービス事業者を予定）
16:40	
16:40	クロージング・閉会式（15分）
16:55	

各プログラムの詳細はP3以降でご確認下さい

10月10日(金) 大会1日目 プログラム

13:15-13:45

あみ基調報告

報告者: 近藤 淳

ガーデニング/ 東京都豊島区・あみ事務局長

あみの理念や方針、普段、どのような活動を行なっている団体なのかなどについてご報告させていただきます。

13:45-14:45

行政報告

報告者: 鈴木 大樹 氏

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

障害福祉課 就労支援専門官

2025年10月からサービスが開始される「就労選択支援」を中心に就労系障害福祉サービス、グループホーム、相談支援についてご報告頂きます。

15:00-16:10

基調講演

「本人もだいじ

家族ひとりひとりもだいじ

求められる家族まるごと支援」

講師: 佐藤 純 氏

Cafs きょうと

(Carer and family support きょうと)

精神に「障害」のある人の生活支援では、Houseである「家」、Homeである「居場所」は重視されているのに、どうしてFamilyである「家族」の支援はあまり取り上げられないのでしょうか。多くの人にとって「家族」は人生の中で大切にしたいもののひとつでしよう。支援する私たちは、どこかで「家族」は私的な領域なので、自分たちの専門外であり、「そちら」で対応してほしいという意識はないでしょうか。

さらに、精神に「障害」のある人のご家族の多くは、孤立したまま混乱している本人を抱え、傷つき、疲弊し、自分の人生を諦め、人生のほとんどを費やして本人を支えています。それは親御さんだけでなく、配偶者も、きょうだいも、子どもも傷ついており、それぞれが大きな負担を抱えながら暮らしています。中には、あまりにも心身の負担が大きく精神疾患を発症しているご家族も少なくないはずです。これは、支援者が家族のケアを当然のことと思い、家族にケアを押し付けている結果と言えないでしょうか。

生活を支援する私たちは、街で暮らすひとりひとりが自分らしく生き活きと生活することを目指して支援しています。それはご家族も同じはずです。精神に「障害」のある人の生活支援に求められる本人もご家族ひとりひとりも大切にする「家族まるごと支援」の視点の重要性について、佐藤がこれまで聞いてきたご家族の声も交えながらお話をさせていただきます。



ami in FUKUKA 2025

プロフィール

2025年4月より、精神に「障害」のある人とそのご家族、そして支援者を支える私的相談機関「Cafs きょうと (Carer and family support きょうと)」を開設し、家族まるごと支援と支援者支援を実践している。

1988年4月から2006年3月まで京都府職員(精神保健福祉相談員として精神保健福祉センター・保健所に勤務)。2006年4月から2025年3月まで京都ノートルダム女子大学で精神保健福祉士の養成を担当しながら、家族会でのボランティア相談や子どもの集い、きょうだいの集い、配偶者の集いを立ち上げるとともに、英国メリデン版家族支援の日本での普及に取り組む。一般社団法人ジャパンファミリーワークプロジェクトの代表理事、公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会の理事も務めている。

16:10-16:25

地域精神保健福祉サポートセンター活動報告

報告者: 佐伯 寿々恵 氏

地域精神保健福祉サポートセンター

勝田 武司 氏

地域精神保健福祉サポートセンター

自然災害で被災を受けた精神障害者支援事業所の復興支援を目的として、未来のために今できることを考えてサポートしている活動について報告いただきます。

18:30-20:30

活動交流会

@八仙閣 本店

詳細はP6をご覧ください。

10月11日(土) 大会2日目 プログラム

09:30-13:30

分科会 1～5

- ・以下の5つより1つを選んで申し込みください。
- ・申込は先着順となり、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

分科会1:「ピアスタッフ」～私たちが大切にしたいこと～

司 会 磯田 重行 氏 (株)リカバリーセンター代表 / 福岡県福岡市
登壇者 矢部 滋也 氏 (一社)北海道ピアサポート協会、日本ピアスタッフ協会代表 / 北海道札幌市
藤原 由紀 氏 精神保健福祉士ピアサポーター / 埼玉県伊奈町
鷹尾 和顕 氏 (株)リカバリーセンターリカバリーセンターふくおか施設長 / 福岡県福岡市
相川 章子 氏 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科教授 / 埼玉県越谷市

4年前、障害福祉サービスにおいてピアサポート加算が創設され、研修を受講することでピアサポート加算の取得が可能になりました。そのような背景から、以前より障害福祉サービスで働くピアスタッフが増えてきています。中でも福岡県は、ピアサポート加算以前から、ピアスタッフが多く雇用されてきたとされています。

しかし、ピアスタッフが増えてきている中、ピアスタッフの価値を見いだせず、専門職化してしまう…、一人職場で悩みを抱え、継続して働くことが困難などといった課題も見えてきています。

ピアスタッフがピアスタッフらしく働くこと、専門職と真の協働をするにはどうしたらいいのでしょうか。現在、ピアスタッフやともに働く専門職らが共通の認識や課題を共有し、ともに考えることが必要になってきている時期ではないでしょうか。

この分科会ではピアスタッフが大切にしたい12項目を元に、ピアスタッフの在り方を参加者とともに考えます。

分科会2:「刑法39条の現在地 課題と展望」～精神障害と刑事責任の狭間で、司法と福祉の未来を考える～

司 会 兼浜 克弥 (NPO) あごらびあ / 沖縄県那覇市(あみ常任理事)
登壇者 木村 邦弘 氏 (NPO) さっぽろ犯罪被害者支援等援助センター / 北海道札幌市
八尋 光秀 氏 西新共同法律事務所 / 福岡県福岡市
永山 盛秀 氏 (一社) ハーネス / 沖縄県那覇市

刑法39条は「責任なき者に刑罰なし」という原則のもと、心神喪失・耗弱状態での犯罪に刑罰を科さず、医療的支援による再犯防止と社会復帰を目的としています。一方で、社会からは「無罪＝責任逃れ」と受け取られる誤解や、当事者が「償う機会」を失うという問題も指摘されています。また、長期収容や支援体制の地域格差、司法と福祉の連携不足なども課題です。制度の理念と市民の理解と共感をどう結びつけるか問われています。

本分科会では、刑法39条が実際にどのように適用されているのか、司法と福祉の連携によってどのような支援が可能なのかを議論します。本分科会を通じて、刑法39条の適正な運用と精神障害者の社会参加を支える仕組みについて議論を深め、より良い共生社会の実現に向けた道筋を探ります。

分科会3:「暮らしの中で実現するリカバリー」～アウトリーチ支援の価値～

司 会 鷹子 剛 氏 (一社) コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会 / 福岡県福岡市
西村 隆之 氏 (社福) つばめ福祉会 / 福岡県福岡市
話題提供者 粟屋 佳祐 氏 就労支援センターウィズダム / 福岡県福岡市
井手口 大剛 氏 F・Cフチガミ医療福祉専門学校 / 福岡県福岡市
亀山 由紀 氏 (一社) Q-ACT Q-ACT 北九州 / 福岡県北九州市
辻 愛 氏 ISKカンパニー / 福岡県大野城市

精神科の医療や福祉の世界では、病院や施設の中だけでなく、本人の暮らしの場に出向いて支える「アウトリーチ型支援」が、いま注目されています。

この分科会では、ケアマネジメントや就労支援、住まいの支援、退院後の生活のサポートなどをテーマに、支援者が地域の現場ーたとえば本人の家や職場、近所のカフェや図書館などーに足を運ぶことの意味や価値を、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

医療や福祉のサービスだけに頼るのではなく、地域にある「ふつう」の場所や人とのつながりをどう活かせるか。それが、ご本人の暮らしやすさや自信、そしてリカバリーにどうつながっていくのか。支援者と利用者という枠を超えた関係づくりも含めて、実際の取り組みを交えながらお話しします。

参加者の皆様と一緒にリカバリーを支えるアウトリーチの在り方について語り合える機会にしたいと思います。

分科会4：「小さな声に気づく力」～きょうだいや子どもの立場から家族支援を考える～

話題提供者 ト部 善行 氏 (社福) 筑後市社会福祉協議会 / 福岡県筑後市
清水 千春 氏 (NPO) 六本松心理教育臨床オフィス / 福岡県福岡市
調整中 (きょうだいの立場)
調整中 (子どもの立場)

この分科会では福岡県内で家族支援を実践されているお二方に登壇して頂き、実践的な支援、明日からやれる家族支援を学んでいきます。また、障害当事者を支えるきょうだいや子どもの立場である方々にも登壇して頂き、誰かのために悩み、頑張ってきた日々を、あの時言葉にできなかった、気づけなかった想いを語って頂きます。

分科会後半では、グループワークを行います。参加者皆さまの体験談や、支える立場の悩みや葛藤、そんな小さな声に耳を傾け、学び、繋がり合うことで、これからの歩む力となれば幸いです。

障害当事者の声、その周りにある小さな声、様々な声に気づくことができる、優しい支援の輪をこの分科会から一緒に広げていきましょう。

分科会5：「ちゃんと福祉をやっている人たちがちゃんとやりたい！」 ～理念のもとで、変えてはいけない「支援」の本質！～

司 会 森田 康雅 氏 麻生医療福祉&保育専門学校
話題提供者 丸野 陽一 氏 (NPO) 嘉飯山ネットBASARA 理事長・(医) 陽山会 理事長
「理念のもとでの支援の大切さ～BASARAでの実践を通して～」(仮)

シンポジウム

登壇者 (3～4名を予定)

- ① 家族会・作業所の立ち上げの思い、実践を通しての現在
 - ② 理念の実践を試みている支援者の思い、傾向や成果
 - ③ 農福連携や企業とのコラボなど他産業との連携
 - ④ 良い支援を提供するための支援者のメンタルヘルスを考える
- 上記内容を検討中

法制度の変更、度重なる報酬改定など「障害福祉サービス」は翻弄されっぱなしの現在、あたかも「支援費制度」末期の、障害者自立支援法前夜の状況に近いとも感じています。

そんな状況の中で、多くの事業所が利用者への支援にだけフォーカスし、その家族や、環境等に目を向けられていない「障害福祉サービス」が目立ってきました。

支援の枠組みはその時代に合わせて変遷を繰り返してきましたが、提供する支援や対象者に変わりありません。今回の分科会では飯塚圏域の家族会、共同作業所を長年に渡り支援しながら、障害者自立支援法に合わせて法人を立ち上げ、共同作業所の受け皿準備に尽力された、精神科医師の丸野氏をはじめ、理念に基づいた実践を各方面で行っている方々にご登壇頂き、支援者が取り組むべき姿勢を示唆して頂きます。ちゃんと支援している方々がちゃんと支援を行って、ちゃんと評価される仕組みについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思っています。

何が大事か…

理念は大事？

理念は大事！

ami in FUKUKA 2025

13:50-14:00

ami へのいざない

兼浜 克弥

あらこびあ / 沖縄県那覇市・あみ常任理事

「amiへのizanai (アミーゴになりましょう)」

活動の「点」と「点」を繋ぎ、編込み、ネットワークの網を広げて、声を合わせて、暮らしやすい社会、地域づくりを一緒にやっていきましょう。

14:00-14:30

スピークアウト

「想いのことだま」

進行：こころの病の患者会 うさぎの会

福岡市は、1984 年まで精神障害者の地域での居場所がデイケア以外ありませんでした。その年に福岡初の無認可小規模作業所「しのめ共同作業所」が家族会によって開設されました。

1992 年に、もっと福岡市に居場所を広げよう、当事者のことを知ってもらおうと、「こころの病理解のために～みんなの集い～」

を毎年開催し、今年で 33 回目を迎えました。～みんなの集い～では、当事者の生の声、想いを、舞台の上で発表する「スピークアウト」という場を大切にしています。

いろいろな想いや形をそれぞれの立場で発表していただきます。

～想いのことだま～ たくさんの方に届き広がっていくことを望みます。

14:50-16:40

シンポジウム

「家族も 丸ごと任せんしゃい！」

様々な立場から、明日へのメッセージ

*途中休憩あり

司会

富岡 賢吾 氏 F・Cフチガミ医療福祉専門学校 教員／ 福岡県福岡市
登壇者

檜橋 恭一 氏 福岡県精神保健福祉会連合会会長 家族／福岡県水巻町

大石 泰治 氏 リカバリースペース桜 施設長 当事者／福岡県久留米市

村上 泰幸 氏 熊本県精神保健福祉会連合会 理事 行政書士

／熊本県熊本市

調整中（障害福祉サービス事業者を予定）

精神障害者の置かれている現状は精神衛生法の時代から現代に至るまで、医療中心で、地域生活においては変化や進化がないと感じています。福祉においても個別給付の導入から、サービスありきの支援が中心となり本来の障害特性や家族背景に応じた当事者に寄り添う支援は形骸化してきたように感じます。

またサービス事業は当事者だけの支援に偏り、様々な問題を抱え悩んでいる家族は、どこに相談したら良いのか、どのように対応すれば良いのかなど、家族が置き去りにされている状況になってはいないでしょうか。支援者が寄り添う支援を考えた時、障害当事者に目は向けますが、その家族にも目を向ける必要があるのではないのでしょうか。

私達は、当事者と家族に焦点をあて、誰一人も取り残さない共に生きる社会実現に向けた行動が必要です。現状を知り、地域で生きていくための課題とは何か、そして未来のために一人一人が何をなすべきかを様々な立場の登壇者と一緒に考え、学び、深めたいと思っています。

明日への希望のために。

活動交流会

会 場 八仙閣（本店） 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 7-27 Teraso-1
（JR 博多駅筑紫口から徒歩 7 分）

時 間 18:30～20:30（予定）

参加費 7,000 円（※お支払いは当日現金でお願いいたします）

「よう、きんしゃったね！！」

全国大会 1 日目の夜は、あみ大交流懇親会です。

全国各地の仲間と飲んで食べて語って、楽しい時間を一緒に過ごしましょう。

はじめましてこの人、お久しぶりあのひと、

「乾杯！」と盃をかわせば、日頃の疲れや悩みも吹っ飛ばし、

繋がりと絆のアミーゴとなり、熱い博多の夜になること間違いなしです。

会場は、JR 博多駅から徒歩 7 分の老舗の名店「八仙閣（本店）」です。

福岡県産の新鮮な食材を使ったお料理もお楽しみいただけます。

また、【豊前神楽 成恒神楽講（国指定重要無形民俗文化財）】が、

皆様をお迎えいたします。

文化と食、人とふれあい、福岡を肌で感じていただけたらと思います。

福岡大会実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



申し込み・支払い

申込は PEATIX での申し込みとなります。
下記の QR コード、もしくは URL よりお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4384879/view>

* 今大会は参加費のキャンペーンを開催しております。
8 月 15 日までが「早割」のキャンペーン期間ですので、
ぜひ、ご活用ください。

